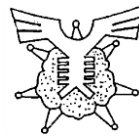


10月の帰宅時刻は  
**4:30**です

**10月の生活目標は、「学校の物を大切にしよう」です。**

# みそのっ子



第7号  
苫小牧市立美園小学校  
生徒指導部だより  
R5. 9. 29

## いじめ悩みアンケート・教育相談

今年度2度目のいじめ悩みアンケートを実施します。

実施後、質問紙をもとに子どもたちの実態をさらに把握し、いじめや個人の悩みを早期に発見し指導する資料とします。あわせて教育相談を行います。いじめ悩みアンケートの内容及び普段の学習の様子や生活の様子など、個人教育相談を実施します。

【実施日】10月2日（月）～6日（金）

【実施方法】各教室で行います。

【教育相談】10月16日（月）～20日（金）

詳しい日程については、各担任から通信でお伝えします。

※教育相談日は、相談児童以外は早めの下校で、15時まで家庭学習となります。

大切なのは「いじめ0」ではなく「見逃し0」と考えています。

裏面に児童用アンケート用紙と対応について載せました。アンケートの前に、ご家庭で学校生活や友達関係について、お子様と話をしておくことでアンケートがより有効活用できます。ご協力よろしくお願い致します。



## 自殺予防教育の下地としての「ほっと」

北海道教育委員会は「児童生徒理解」の充実を図るため、児童生徒のコミュニケーションスキルを測定する「子ども理解支援ツール『ほっと』」を、北海道医療大学と共同して開発し、普及に努めています。「ほっと」とは、コミュニケーションスキルや日常生活等への満足度、精神的な安定度など、児童生徒をより深く理解するために必要な情報を計画的、総合的に測定することができるツールです。

いじめや不登校等の諸問題の対応では、児童生徒が、自分の思いや考えを適切に表現したり、思いやりの心をもって他者と関わったりするなど、よりよい人間関係を築く力を高めていくことが大切です。

本校では、自殺予防教育の下地となるコミュニケーション能力や望ましい人間関係を構築する能力について測定できる「ほっと」のアンケートを年2回実施し、学級や個々の状態像（実態）をつかむ客観的な情報の1つとして活用しています。

児童質問紙に関わって

質問紙は、学校保管になります。児童直筆のもの以外は記入しません。

調査票 1-1

小学校高学年用（10月実施）

（ ）年（ ）組 （名前

1 あなたは、今年の4月から今日まで、2のア〜クのようなことをされて、嫌な思いをしたことがありますか。  
ア ある

2 1で「ア ある」と答えた人に聞きます。どんなことをされましたか。ア〜クの中から全部選び、○を付けてください。また、クを選んだ人は（ ）にどんなことをされたか、具体的に書いてください。  
ア 冷やかしかからかい、悪口をいわれる  
イ 仲間はずれや無視をされる  
ウ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする  
エ ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする  
オ お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたりする  
カ 恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする  
キ メールや無料通話アプリ（SNS等）で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする  
ク その他（ ）

3 1で「ア ある」と答えた人に聞きます。あなたは、2のことで、今も嫌な思いをしていますか。  
ア している イ していない

4 あなたは、嫌な思いをした時、誰に相談しますか。ア〜ケの中から全部選び、○を付けてください。また、ケを選んだ人は（ ）に相談する人を具体的に書いてください。  
ア 学校の先生 イ スクールカウンセラー ウ 友人 エ 父や母  
オ 兄弟姉妹 カ 電話相談 キ メールやSNSの相談窓口  
ク だれにも相談しない ケ その他（ ）

5 あなたは、今年の4月から今日まで、友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたことがありますか。  
ア ある イ ない

6 学校から「子ども相談支援センター電話相談紹介カード」が配られていますか、そのカードを知っていますか。  
ア 知っている イ 知らない

7 あなたは、2に書かれていることを含め、苦しんだり、悩んだりして心が傷つく「いじめ」はどんな理由があっても許されないことだと思いますか。  
ア そう思う イ そう思わない ウ よくわからない

自由記述欄 他に何か相談したいことがあれば、自由に書いてください。

1であると答えた児童に対しては、いじめの認知とみなし、具体的な内容を把握し、当事者間に担当が入り話し合いや解決の場を設けます。

3であると答えた児童に対しては、貴重な情報になりうるので詳しく聞いて対応に当たります。

2で誰にも相談しないと答えた児童の中には、「嫌な思いをしていないので相談する必要がない。」と考えて答える児童が多いようです。

あくまでも嫌な思いをした時の相談であることを伝え、相談先をつくってあげる助言・指導を行います。

自由記述欄の内容については、後の教育相談で取り上げて、対応に当たります。